

文部科学大臣 殿
日本ユネスコ国内委員会 殿

松川資料をユネスコ世界記憶遺産登録を応援します

1949年8月17日未明、福島市（東北本線松川駅と金谷川駅間）で列車脱線転覆事件（後に、松川事件）がおき、乗務員3人が死亡しました。この事件の容疑者として国労福島と東芝松川工場の労組員20人が逮捕・起訴されました。

裁判では、1、2審で「死刑」を含む有罪判決。その後、被告、家族会、弁護団の奮闘で無実が明らかにされる中、文化人の皆さんが裁判長に「公正裁判」を要請。さらに、無実の人を救えと地域や職場に「松川守る会」などが全国津々浦々につくられ運動が拡がりました。こうして被告全員は完全無罪を勝ち取りました。

私たちは、松川事件、松川裁判、松川運動の資料を人類の文化遺産として後世に遺し伝えていきたいと思えます。この松川資料の「ユネスコ世界記憶遺産登録」を署名活動を通じて応援するものです。

上記趣旨に賛同いたします。

年 月 日

団体名

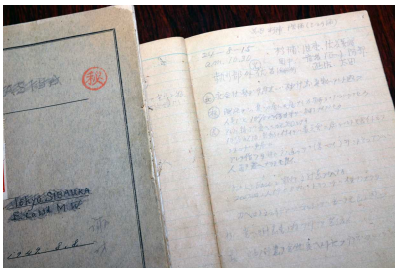
⑩

住 所

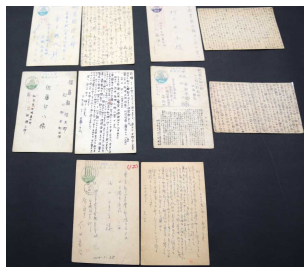
「松川資料ユネスコ世界記憶遺産登録を推進する会」

よびかけ人・中井勝己（福島大学学長）・吉原泰助（福島大学元学長）・荒井新二（自由法曹団団長）・石川元也（松川事件弁護人）・遠藤宮子（福島県女性団体連絡協議会元会長）・大河内重男（福島県弁護士会元会長）・小田川義和（全国労働組合総連合議長）・片岡正彦（福島県弁護士会元会長）・木谷 明（元最高裁調査官）・小池達哉（福島県弁護士会元会長）・今野順夫（福島大学元学長）・佐藤恒晴（福島県松対協事務局次長）・鈴木亜英（日本国民救援会会長）・鶴見祐策（松川事件弁護人）・豊田 誠（全国公害弁連元代表）・新倉 修（国際法律家協会元会長）・松本善明（松川事件弁護人）・村井邦敏（一橋大学名誉教授）・安田純治（NPO松川運動記念会理事長）、各界から249の著名人。

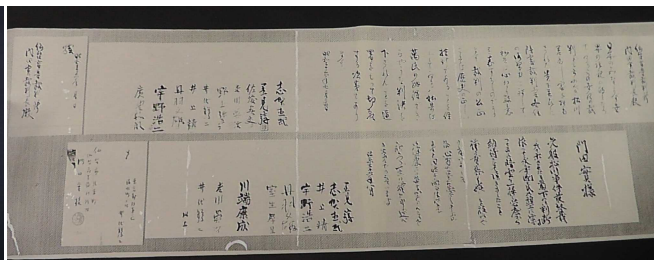
□「ユネスコ記憶遺産」(Memory of the World)とは、ユネスコが主催する事業で、1995年に開始しています。危機に瀕した古文書や書物などの歴史的記録物(可動文化財)を最新のデジタル技術を駆使して保全し、研究者や一般人に広く公開することを目的とした事業。



被告のアリバイを証明する「諏訪メモ」



被告たちが獄中から無実を訴えたハガキ



井上靖、井伏鱒二、宇野浩二、川端康成、志賀直哉、丹羽文雄、広津和郎、吉川英治、室生犀星他の作家が門田実裁判長に「公正裁判」を要請